

河内街道音頭 (平成27年8月)

作詞 扇谷 昭 補作詩 川中 知子
唄 松原 光司

エーさては一座の皆様へ ちょいと出ました私は
東大阪 今米生まれの 庄屋の息子 ヨホーイホイ
度重なる河内平野の水害に 村人の苦勞も水の泡
江戸期 元禄、宝永の御世 南北に流れた 大和川
起点の碑 残る藤井寺 柏原から
たっの八カ月で 東西 堺に付け替えた その名も甚兵衛私のことヨ
古い川筋 新田に 河内木綿の栽培だ 村人心うきうき
七百年の昔より唄い続けた河内音頭を借りまして
河内の歴史と文化を伝え
平成の今より 唄い始めた河内街道音頭にのせまして
精魂込めて唄いましょう ソラ ヨイトコサッノ ヨイヤサッサ
河内の南に悠然と そびえて高き 金剛山
そこ千早赤阪に生まれて 強烈な男気 大楠公
知略の限りを尽くして 導いた建武のまつりごと
この戦破るべし わずか数年で 散る湊川
何としても 吉野の宮を 京の都へと 河内長野 観心寺に学び育つ
遺訓を胸に 本陣 河内往生院 河内の北にこんもりと
米盛りたるごとし 飯盛山 街道はさんで 河内湾の名残 深野池
忠孝両全全うし 眠る四條畷 小楠公 河内を南北に
貫き 生き続けた二人の魂は 幕末 明治維新と 花開く
大昔 けもの道 稲作始まり 人の通った跡が道になる
淀川の洪水から 民まもる 茨田の堤
古市に 応神陵できた 古墳の時代
寝屋川 門真に 日本最初の堤防できる
仏教文化 花開いた奈良時代 庶民に伝えて全国行脚の行基さん
守口から平城京へ 作った行基道 庶民のみち

平安時代 高野山 開いた弘法大師
京の都から 坊さん 公家 武士 庶民と お参り絶えない 東高野街道
法力伝え 各地に残る 弘法の井戸
難波の津と 大和飛鳥を結んで1400年 日本最古 古道の官道竹内街道
松原 羽曳野 太子 河南の大道よ 大坂京都間 100もの関所なくし
自由な往来 信長公 大坂と伏見を結ぶ 最短道
文禄堤は 秀吉公 4つの村378軒 枚方の宿
京街道一の大宿場町 くらわんか舟に乗ったか家康公
江戸期の豊かさ 河内 あちこに 八尾 富田林は 寺内町
旧家の連なる白壁と 電柱建たない石畳
交野 大阪狭山は 立派な屋敷
馬に乗ったま通れる代官屋敷 北田家の大門
入母屋根に本瓦 古来農家屋敷 吉川家
野崎まいは 屋形船でまいりしょう
元禄宝永に 人の往来絶えない 大東 野崎観音
二つの世界遺産 京の都と高野山 山城八幡 紀州橋本ヲ
結ぶ ふるさと 河内の街道 2000年の歴史が作った 河内平野
縄文の昔は 河内の海ヨ やがて砂運ばれ 河内湖に
長く続いた 川の氾濫 湿原時代
大和川の付け替えて 始まる河内平野の繁栄を
今に伝える 21のまち 歴史と文化を綴って
河内街道音頭と申します
聞いておくれよ 荷物にやならぬ 聞いて心もウキシャンセ
気から病が出るわいな 歌の文句は小粋でも 私じゃ未熟で
とつても うまくきっちり実際まことに
みごとに読めないけれど 八千八声のホトギス
血をはくまでも つとめましょう

パートナー企業

KIRIN

小阪産病院



株式会社
イー・ステーション



HIGHCLASS-DRINK
ハイクラスドリンク 株式会社



大阪商業大学
Osaka University of Commerce



アナン学園高等学校

“河内の国”文化遺産総合活用実行委員会

一般社団法人河内観光局内

〒578-0903 東大阪市今米1-4-38 TEL.06-6788-9159

2016年3月



平成27年度
文化遺産を活かした地域活性化事業

文化庁



河内の国今昔フェスタ 事業報告書

“河内の国”文化遺産総合活用実行委員会

河内地域は、古代遺跡、国宝、重要文化財が日本一集積する歴史文化の宝庫です。

地域を南北に貫く東高野街道を中心に合流する中高野街道、西高野街道、そして交差する多くの街道があり、大陸から難波を經由し奈良の都、京の都を結ぶ物流の街道、高野詣やお伊勢参りの道筋として発展した「街道文化」が現在の礎となっています。

近世には大和川の付替えが行われ、河内木綿の栽培が盛んになり、水運・産業が発達し、繊維産業を中心に日本経済を牽引するまでに発展しました。

しかし、近代に入り工業化が進み、経済成長、自動車道路整備、宅地開発等に重きが置かれている間に、地域の歴史や文化が軽視されてきました。

そこで、河内地域の豊かな歴史遺産や文化遺産を観光資源として大きく活用することが重要であると考え、高野街道を中心に、河内国全市町村各地域にある歴史や風土・文化や名勝・名産や産業など、観光に資する資産・資源を全国に発信し、地域起こしと活性化に繋げるためのイベントとして開催いたしました。

河内の国文化遺産総合活用実行委員会

目次●Contents

はじめに	1
事業概要	2
河内の国今昔フェスタ	
歴史・文化と見本市in大阪駅	
●プログラム	3
●イベント風景写真集	4
地域資源と観光を考えるフォーラム	
大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天	
●プログラム	6
●基調講演●感想文コンクール	7
●基調講演●パネルディスカッション	8
●イベント写真集	9
イベントを振り返って	10
アンケート	12

はじめに



第1回 河内の国今昔フェスタを開催して

一般社団法人河内観光局 会長
行政書士
池田 清

文化庁平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業として、11月1・2日及び22・23日と行いました「河内の国今昔フェスタ」は、その多彩な催しにおいて、河内の魅力を全国に発信するという目的・ねらいからすれば大きな成功でありました。

11月1・2日は「歴史・文化と見本市in大阪駅」としまして大阪ステーションシティ（大阪駅南ゲート広場）で、新作「河内街道音頭」の披露や加納文化伝統保存会、講念仏踊り保存子ども教室、河内俄などの河内の郷土芸能、イ・ヨンボライブショーをくり広げるとともに、河内の物産見本市展や電気自動車Meguruと「まいど1号」の展示を行いました。また、門真・東大阪・寝屋川の各市に協力していただきましたゆるキャラの登場は、子どもたちや若い人に好評でした。

22・23日は、大阪商業大学「ユニバーシティホール蒼天」に場所を移し、「河内の国フォーラム『地域資源と観光を考える』」を開催し、基調講演「豊かな河内國の歴史と文化遺産を顕彰し未来へ」（辻中豊先生）、「豊かな河内國の地域資源を観光にどのように活かすか」（高橋一夫先生）と、パネルディスカッション「高野街道って何だろう？」（コーディネーター：河井孝仁先生、パネラー：地村邦夫、野島稔、酒井理、和泉大樹の各先生）を行っていただきました。

また、旭堂南青氏による講演「河内物語」と、旭堂小二三氏による公団「楠木正成」を行っていただき、それらの合間には、先の郷土芸能に加え、大和川今昔物語・語りベシアターに登場していただきました。

伝統芸能の展開は改めて河内の文化が人々の中に生きていることを実感させましたし、講演・シンポジウムも河内の観光資源をどう地域の発展に生かしていくかということについて、いずれも貴重な問題提起がなされ、中味の濃いものでありました。また、中甚兵衛物語感想文コンクール・表彰式も行い、次世代の文化の担い手である子どもに焦点をあてた取り組みも価値あるものでした。4月に文化庁の補助金事業としての採択がきまり、きわめて短期間のうちに、このように成功のうちに終えることができたのも、よき出演者、講師・パネラー、司会の方々にもめぐり会えたこと、協力いただいたスタッフの皆様が、精いっぱい努力をしていただき、力以上の貢献をしていただいたこと、そうした方々のおかげであります。

しかし、不慣れな者どうして試行錯誤したこともあり、反省すべきところも多々あったことも事実であります。これらについては今後の取り組みを行う上で、しっかりと改善を行い、よりよい事業活動としていくつもりです。

どうも皆様、ありがとうございました。

河内の國今昔フェスタ 歴史・文化と見本市

河内の國今昔フェスタ 河内の國フォーラム「地域資源と観光を考える」

主催：河内の國「文化遺産総合活用実行委員会」

共催：一般社団法人河内観光局、NPO法人地域情報支援ネット、今米緑地保全会

後援：観光庁・国土交通省近畿地方整備局、一般社団法人全国自治体活動支援ネット、大阪府教育委員会、大阪府商工会議所連合会、大阪府商工会連合会

協力市町村：枚方市、寝屋川市、守口市、門真市、交野市、四條畷市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市、松原市、藤井寺市、羽曳野市、堺市、富田林市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、河内長野市、八幡市(京都府)、橋本市(和歌山県)

協賛(パートナー企業)：小阪産病院、大阪商業大学、アナン学園高等学校、ハイクラスドリンク株式会社、株式会社イー・ステーション、KIRIN

事業概要

事業名：河内の國今昔フェスタ

主催：“河内の國”文化遺産総合活用実行委員会

共催：●一般社団法人河内観光局

●NPO法人地域情報支援ネット●今米緑地保全会

後援：●観光庁●国土交通省近畿地方整備局

●一般社団法人全国自治体活動支援ネット

●大阪府教育委員会

●大阪府商工会議所連合会●大阪府商工会連合会

協力市町村：●枚方市●寝屋川市●守口市●門真市●交野市

●四條畷市●大東市●東大阪市●八尾市●柏原市

●松原市●藤井寺市●羽曳野市●堺市●富田林市

●大阪狭山市●太子町●河南町●千早赤阪村

●河内長野市●八幡市(京都府)●橋本市(和歌山県)

協賛(パートナー企業)

●小阪産病院 ●大阪商業大学●アナン学園高等学校

●ハイクラスドリンク株式会社

●株式会社イー・ステーション

●KIRIN

開催日&場所&イベントタイトル

●2015年11月1日(日)・2日(月)

大阪ステーションシティ(大阪駅)南ゲート広場

「歴史・文化と見本市 in 大阪駅」

●2015年11月21日(土)・22日(日)

大阪商業大学「ユニバーシティホール蒼天」

「河内の國地域資源と観光を考えるフォーラム」

役員：委員長 池田 清

委員 川中 則彦

委員 幸田 栄長

監事 扇谷 昭

会計 川中 知子

4月10日 文化庁平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業(地域の文化遺産次世代継承事業)採択決定

6月28日 “河内の國”文化遺産総合活用実行委員会総会設置

[情報発信部会]川中知子部会長、高原、仲野、岡本、安達、中野早智子、池田、久保井

[普及啓発部会]扇谷部会長、美間、川中俊夫

[見本市部会]幸田部会長、安川、井上、橋本、清水、嶋田、山野、松浦、仲野、上野、堀川

[フォーラム部会]池田部会長、中野早智子、神田、廣瀬

[企画・会計部会]川中則彦部会長、岡田、佐々木、西谷

7~11月 情報発信部会、普及啓発部会、見本市部会、フォーラム部会、企画・会計部会を設置し、各部会・全体会を頻りに行う

中甚兵衛物語読書感想文審査委員会設置

平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業
河内の國今昔フェスタ
歴史・文化と見本市 in 大阪駅
ところ：大阪ステーションシティ(大阪駅)南ゲート広場
11/1(日) 午前11時より
河内の物産見本市
新作「河内街道音頭」披露
鉄道節河内音頭、松原光司一行、ゲスト：井筒家小石丸 他
河内の郷土芸能・河内各市のゆるキャラ出演
11/2(月) 午前10時00分より
河内の物産見本市
新作「河内街道音頭」披露
鉄道節河内音頭、松原光司一行、ゲスト：井筒家小石丸 他
アジアのジョン・レン・イ・ヨンボライブショー
河内の郷土芸能・河内各市のゆるキャラ出演
河内の國フォーラム「地域資源と観光を考える」
ところ：大阪商業大学「ユニバーシティホール蒼天」
11/21(土) 午前10時40分より
基調講演 「豊かな河内地域の歴史と文化遺産を継承し未来へ」
講師：辻中書 筑波大学 学長特別補佐 国際担当
「中 甚兵衛物語 感想文コンクール発表会・表彰式」
講師：河内物語 講師：旭堂南青
11/22(日) 午前10時10分より
基調講演 「豊かな河内地域の地域資源を観光にどのように活かすか」
講師：高橋一夫 近畿大学 教授
新作「河内街道音頭」披露
鉄道節河内音頭、松原光司一行、ゲスト：生駒 一
パネルディスカッション 「高野街道って、なんだろう？」
講師：橋本正成 講師：旭堂小二三
河内の物産が当たる「抽選会」

平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業
河内の國今昔フェスタ
河内の國フォーラム「地域資源と観光を考える」
ところ：大阪商業大学「ユニバーシティホール蒼天」
11/21(土) 午前10時40分より
基調講演 「豊かな河内地域の歴史と文化遺産を継承し未来へ」
講師：辻中書 筑波大学 学長特別補佐 国際担当
「中 甚兵衛物語 感想文コンクール発表会・表彰式」
講師：河内物語 講師：旭堂南青
河内の郷土芸能・河内各市のゆるキャラ
11/22(日) 午前10時10分より
基調講演 「豊かな河内地域の地域資源を観光にどのように活かすか」
講師：高橋一夫 近畿大学 教授
新作「河内街道音頭」披露
鉄道節河内音頭、松原光司一行、ゲスト：生駒 一
パネルディスカッション 「高野街道って、なんだろう？」
講師：橋本正成 講師：旭堂小二三
河内の物産が当たる「抽選会」

河内の國今昔フェスタ
河内の國
地域資源と観光を考える
フォーラム
プログラム
●日時：2015年11月21日(土)・22日(日)
●ところ：大阪商業大学「ユニバーシティホール蒼天」
主催：“河内の國”文化遺産総合活用実行委員会
後援：一般社団法人河内観光局・NPO法人地域情報支援ネット・今米緑地保全会
共催：観光庁・国土交通省近畿地方整備局・一般社団法人全国自治体活動支援ネット・大阪府教育委員会・大阪府商工会議所連合会・大阪府商工会連合会
協力市町村：枚方市・寝屋川市・守口市・門真市・交野市・四條畷市・大東市・東大阪市・八尾市・柏原市・松原市・藤井寺市・羽曳野市・堺市・富田林市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村・河内長野市・八幡市(京都府)・橋本市(和歌山県)
協賛(パートナー企業)：小阪産病院、大阪商業大学、アナン学園高等学校、ハイクラスドリンク株式会社、株式会社イー・ステーション、KIRIN

河内の國今昔フェスタ 歴史・文化と見本市 in 大阪駅

■場所：大阪ステーションシティ(大阪駅)南ゲート広場

プログラム/11月1日(日)

- 11:00 開演挨拶 **まいど1号(模型展示)▼**
- 11:10 来賓挨拶
- 11:30 テープカット
- 11:40 獅子舞・天狗
演者：加納文化伝統保存会
- 12:10 講念仏踊り
演者：八尾市曙川東地区講念仏踊り保存こども教室
- 12:40 =休憩=
- 13:00 河内街道音頭
演者：松原光司 師 一行(鉄砲節河内音頭)
ゲスト：井筒家小石丸 他
- 14:00 河内俄(にわか)
演目：清水の小政少年時代・母恋三度笠伊三郎懺悔
演者：竹春座&昭和町青年団一行
- 15:00 河内街道音頭
演者：松原光司 師 一行(鉄砲節河内音頭)
ゲスト：井筒家小石丸 他
- 17:00 閉演

プログラム/11月2日(月)

- 10:20 開演挨拶
- 11:30 河内俄(にわか)
演目：森の石松三十石舟道中
演者：桂 文鹿 & 竹春座
- 12:30 =休憩=
- 14:00 河内街道音頭
演者：松原光司 師 一行(鉄砲節河内音頭)
ゲスト：井筒家小石丸 他
- 15:00 河内の歴史、イ・ヨンボライブショー
演者：イ・ヨンボ
- 15:30 河内街道音頭
演者：松原光司 師 一行(鉄砲節河内音頭)
ゲスト：井筒家小石丸 他
- 16:30 フィナーレ
- 17:00 閉演



電気自動車Meguru(模型展示)





鉄砲節河内音頭：松原光司師一行



河内俄：竹春座



河内の物産見本市に興味一杯の見学者の方々

（一社）河内観光局長 池田清
（一社）全国自治会活動支援ネット 理事 松浦隆



河内俄：竹春座&桂文鹿



なにわのジョンレノン：イ・ヨンホライブショー

河内音頭：井筒家小石丸
生駒竜也



河内街道音頭

河内の國今昔フェスタ 河内の國 地域資源と観光を考えるフォーラム

■場所:大阪商業大学「ユニバーシティホール蒼天」

プログラム／11月21日(土)

- 10:30 開会宣言
- 10:40 開会挨拶
一般社団法人河内観光局会長 池田 清
- 来賓挨拶
- 11:00 獅子舞
加納文化伝統保存会
- 11:30 基調講演
「豊かな河内國の
歴史と文化遺産を顕彰し未来へ」
講師:辻中 豊 筑波大学 学長補佐
- 12:50 休憩
- 13:30 語りベシアター
「大和川今昔ものがたり」
大和川チーム
- 14:00 講念仏踊り
曙川東地区講念仏踊り保存こども教室
=休憩=
- 14:30 「中甚兵衛物語」読書感想文コンクール
審査委員長:池田 清
審査委員:神田智子、小宮芳彦
高津満夫、扇谷昭、川中則彦
- 15:30 河内俄(にわか)
演者:塩路鉄砲水&竹春座
=休憩=
- 16:00 講談「河内物語」
講師:旭堂南青
- 16:30 閉演
- 16:45 懇親会挨拶
一般社団法人河内観光局理事 川中則彦
- 20:00 閉会

プログラム／11月22日(日)

- 10:00 開会宣言
- 10:10 開演挨拶
一般社団法人河内観光局理事 扇谷 昭
- 10:20 河内俄(にわか)
塩路鉄砲水&竹春座
書生演歌師:宮村群時
- 11:00 =休憩=
基調講演
「豊かな河内國の地域資源を
観光にどのように活かすか」
講師:高橋一夫 近畿大学教授
- 12:20 休憩
- 13:00 河内街道音頭
河内音頭:松原光司
ゲスト:生駒 一
匠の街
歌:松原慎之介
=休憩=
- 13:40 パネルディスカッション
「高野街道って、なんだろう?」
コーディネーター:河井孝仁
パネリスト:地村邦夫
野島 稔
酒井 理
和泉大樹
=休憩=
- 15:50 講談「楠木正成」
講師:旭堂小二三
- 16:30 抽選会
- 17:00 閉会挨拶
一般社団法人河内観光局会長 池田 清



開会宣言:坂巻玲子 開会挨拶:池田清会長 来賓挨拶:田中八尾市長 来賓挨拶:野田東大阪市長 来賓挨拶:全国自治会活動支援ネット 橋本侃理事

地域資源と観光を考えるフォーラム

1日目

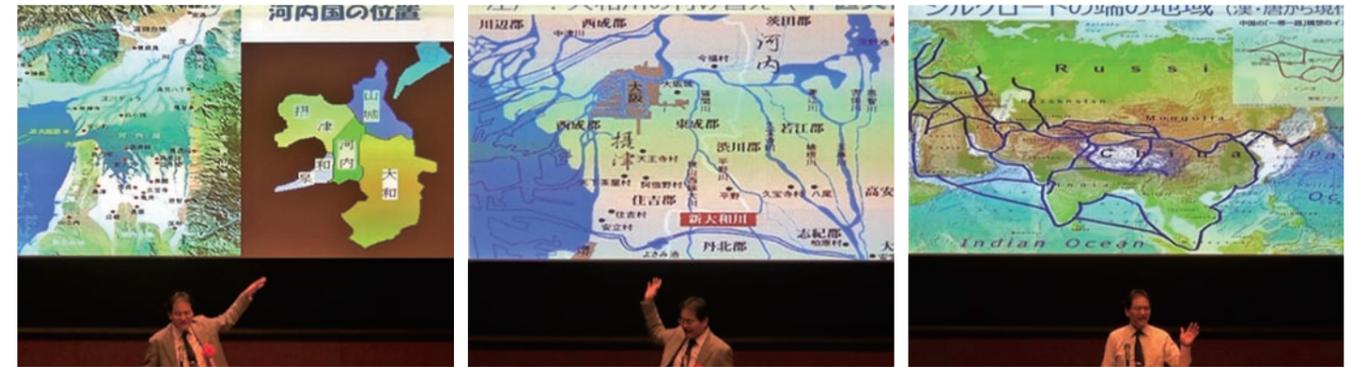
基調講演

『豊かな河内乃國の、歴史と文化遺産を顕彰し未来へ』

講師:辻中 豊 筑波大学 学長補佐

『豊かな河内乃國の、歴史と文化遺産を顕彰し未来へ』と題した基調講演では、筑波大学学長特別補佐の辻中豊先生が、国際政治学者の視点から、「河内」は日本の國の起源から絶えず歴史の表舞台に登場し、シルクロードの端という位置関係から、平城京に大陸文化が伝搬する入り口を占め、古い歴史に根差し、渡来人との関係が深い人間性豊かな地域であると説かれた。

古代に遡る古い地名や古地図、文化財、街道、湖や河川、合戦場、そして歴史上の人物という観光資源に、住民自らが着目し、それらの魅力を発信する“河内乃國”の見える化が必要であると力説された。



『中甚兵衛物語』感想文コンクール

『中甚兵衛物語』感想文コンクールでは、大和川を身近に感じながらもその歴史を知らなかった小学生達が、漫画本を通じて偉人たちの尽力の上に現在の和川と河内平野の繁栄があることを学び、その率直な感想を寄せてくれた。

その中で、特に大和川の付替えを成し遂げた偉人達の心情や、その労力に想いを寄せ、今の自分と重ね合わせて表現した感想文はとて読み応えのあるものであった。

感想文を募集し表彰することで、「漫画」という子供たちにとって親しみやすい表現を用いることは、郷土愛を育む1つの手法として有効であると強く実感することが出来た。



最優秀賞:柳田大貴君(堺市立野田小学校)代理表彰



準最優秀賞:馬越友梨(堺市立野田小学校)

個人表彰
最優秀賞……柳田大貴(堺市立野田小学校)
準最優秀賞…馬越友梨(堺市立野田小学校)
優秀賞……13名

団体表彰
中甚兵衛感想文大賞…堺市立野田小学校
大和川きずな賞……大東市立住道南小学校
中甚兵衛コメント賞…東大阪市立成和小学校
大和川新聞特ダネ賞…藤井寺市立藤井寺南小学校
中甚兵衛リスペクト賞…堺市立三国ヶ丘小学校
中甚兵衛感想川柳賞…大阪市立東中川小学校

歴史と文化遺産を顕彰し未来へつなぐという主旨を踏まえ『中甚兵衛記念河内の國文化遺産賞』を創設し

2団体を表彰した



中甚兵衛記念河内の國文化遺産賞 語り部「大和川今昔ものがたり」大和川チーム



中甚兵衛記念河内の國文化遺産賞 講念仏踊り 曙川東地区 講念仏踊り保存こども教室

基調講演『豊かな河内國の地域資源をどのように活かすか』

近畿大学教授・高橋一夫先生



二日目の近畿大学教授・高橋一夫先生による『豊かな河内國の地域資源をどのように活かすか』と題する基調講演では、観光客が「東大阪」をどのようなイメージで見ているかという消費者の視線を忘れず、住民が主体となって「住んでよし」「訪れてよし」の観光まちづくりの推進を提案された。

地域の魅力的な歴史に住民自身が気づき、積極的に観光事業者と協力することが重要と説かれ、国内外の成功例を元に、従来型の名所を巡る通過型観光ではなく、地域の隠れた物語や人に感動する「知的体験」を目的としたニューツーリズムを、河内でも活発化させる必要を訴えられた。そのためにはテーマ・プログラム・ターゲット・見せ方(演出)を明確化し、持続的な観光事業のために、観光客・事業者・住民の三者がWin-Win-Winとなる仕組みづくりの創出が重要であるとまとめられた。



パネルディスカッション

パネルディスカッション『高野街道って、なんだろう?』では、東海大学文学部広報メディア学科教授・河井孝仁先生をコーディネーターに迎え、4人のパネリストによる各専門分野の視点から見る高野街道の魅力と観光への繋げ方を伺った。



コーディネーター
河井孝仁(かわいたかよし)
東海大学文学部広報メディア学科教授
博士(情報科学・名古屋大学)

高野街道は大きく分けると4つの経路があり、中でも東高野街道は、ほとんどの河内地域を通過する街道で、沿線には多くの文化財があり、昔はこの文化財をいかに「保護」するかという取り組みが主であったが、現在はいかにこれを活用し、社会に還元するかが重要になっている、と大阪府教育委員会文化財保護課・文化財企画グループ総括主査の地村邦夫氏が指摘。



「まちづくり」という観点から見た高野街道をどう思われるか。」という河井先生の質問に対し、法政大学キャリアデザイン学部・准教授の酒井理先生は、「まちづくり」は「ひとづくり」であるとし、積極的にまちづくりに参加してくれる人材を育てることと、彼らの活躍できる場所を生み出すことが重要であると示唆。



パネリスト
酒井理(さかい おさむ)
法政大学キャリアデザイン学部准教授

「地域の人が高野街道に愛着を持つにはどうすればよいか。」という問いかけには、四條畷市立歴史民俗資料館館長・野島稔氏が、街道筋には貴重な昔の町並が現在も残っており、それを地域の人自らで再発見し、観光のキーマンとしていく必要性を説かれた。



パネリスト
地村邦夫(ちむら くにお)
大阪府教育委員会文化財保護課
文化財企画グループ 総括主査

それを受ける形で、阪南大学国際観光学部国際観光学科准教授・和泉大樹先生は、地元出身ではない大学生達とのフィールドワークを通じて、地元人から見ると当たり前のもも、外からの視点では光り輝いて見えることがあるとし、第三者的視点も地域の魅力再発見には重要と付け加えられた。



パネリスト
和泉大樹(いずみ だいき)
阪南大学国際観光学部国際観光学科
准教授

また、単発の観光イベントに留まらず、日常的に観光資源を地域の人の脳裏に刷り込んでいく取り組みも有効であると説かれた。

最後に、「河内観光局に期待することは？」という河井先生の質問に対して、和泉先生は、各自治体での個々の取り組みは既になされているので、それらを繋ぐ役割を、酒井先生は、自治体の枠組みに捉われない広い視野による高野街道のブランド化が重要とし、野島氏は、各地域で活躍するボランティアガイドのまとめ役としての役割を、地村氏は、過去を検証し、未来に期待する今のスタンスを忘れずに、継続していくことを河内観光局に求められた。



パネリスト
野島稔(のじま みのる)
四條畷市立歴史民俗資料館館長



河内観光局テーマソング 【河内街道音頭】

鉄砲節：松原光司



匠の街：松原慎之介



河内音頭：松原光司



河内音頭：生駒一



書生演歌師：宮村群時



河内俄
塩路鉄砲水&竹春座



獅子舞：加納文化伝統保存会



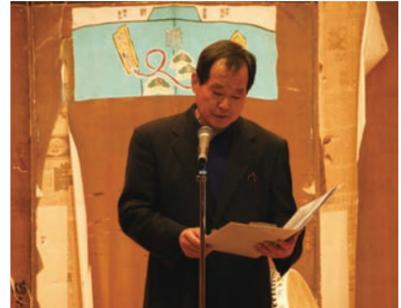
語りベシアター
「大和川今昔ものがたり」大和川チーム



手妻：ワンダフル佳恵(松旭齋天蝶)



講談「河内物語」：旭堂南青



開会挨拶(一社)河内観光局理事扇谷 昭



講念仏踊り
曙川東地区講念仏踊り保存こども教室



講談「楠木正成」 旭堂小二三

抽選会

イベントを振り返って



河内の国フォーラムに参加して

日刊工業新聞社東大阪支局長 佐々木信雄
2年前に取材で話を聞かせていただいた縁で、今回のイベントに雑用係だが、関わることとなった。社業とは切り離れたプライベートな立場だが、関係者の幾人かは取材で接点があり、社業に生かそうという下心もあった。

河内地域はモノづくりの実力は世間に向けてそこそこの存在感を放っているようだが、文化性については埋もれていると感じていた。ただし、地域に文化がないのではなく、文化行政が弱いということ。河内王権、楠木正成・正行親子、大和川の付け替え、河内木綿、伸線加工など、豊かな歴史のドラマがあふれる地域である。それらを発掘し、愛情を抱き、伝承する人がいる地域だと気づかされた。

今回、舞台裏で間近に見る、河内音頭、河内にわかといった、ソウルフルなエンターテインメントは、そのものの魅力と、伝承を実感できた。多くの題材に一気に触れあえる、私には絶好の機会だった。願わくば継続し、より発信力のあるイベントとするため、微力をつくせれば幸いである。

河内観光局の主催イベントに参加して

加納文化伝統保存会 会長 久森敬次
江戸時代から営まれている伊勢大神楽をルーツとする東大阪市加納地区「宇波神社」の秋祭りに伝統行事として披露する獅子神楽を守って百年ほどになりますが、初めてJR大阪駅構内のイベント広場での舞いや大阪商業大学ホールでの舞いを披露できたことを嬉しく思います。

伝統芸能を継承していこうとするときに、時々このような晴れの舞台があると、若者たちのやる気にスイッチが入ります。

地域の秋祭りの時だけでは、練習の成果を確認することが甘くなりますが、外部での舞いとなると必然的に練習時間と会員内の教え教えられる双方のコミュニケーションが良くなり、伝承への環境が最適になります。

これはまさしく伝統行事を守り伝え披露することで、地域活性化（人と人のより深い繋がり）へと繋がっていくものだと感じました。出会いに感謝します。

顧(講)念仏踊りを振り返って

兼田 早百合
曙川東地区講念仏踊り保存子ども教室では西村市郎右衛門さんの思い出を継いで13年目の活動をしています。地域の皆さんのご支援ご協力があり成り立っています。

発表は八尾市中心でした。昨年は河内観光局さんからの声掛けを頂き発表の場所を拡げることができました。

中甚兵衛さんのことと併せて発表できることは見ている人達に大和川付け替えの二人の恩人達を深く広く理解させられ地域を大切に思う気持ちも育むのに一役になったのではないかと良かったと思います。

発表の場が増えることは子ども達の成長につながり、遅しさもついてきています。しかし、年々少人数になってきており入会方法や資金面に対しても大変さがありますが、地域一体となって取り組みます。



河内の国フォーラム

「地域資源と観光を考える」に参加して
語りベシアター・大和川チーム代表 ますの隆平
今回このフォーラムに参加させていただき、私共の語りベ公演に「中甚兵衛記念河内の国文化遺産賞」を頂戴しましたことを大変光栄に思っております。

「河内国」は北から南まで相当広い地域にまたがりますが、本公演では中河内一帯の主水路であり、度々氾濫して民を苦しめた大和川をテーマとして、その自然と歴史、とりわけ川の付替という大プロジェクトに命を捧げた人々のドラマを「画像・音楽・語り」で構成してみました。中心となる人物は旧川筋の庄屋中甚兵衛ですが、新川筋で悲劇的役割を担った西村市郎右衛門も取り上げ、話が立体的になるようにしました。

中家ゆかりの方々の資料や文献での付替物語の記述と学術書のそれとで甚兵衛の位置づけが異なっており、市郎右衛門の事跡に至っては取り上げてある本自体が殆どなく、仕上げるまでに紆余曲折がありました。地元の伝承を尊重しながら客観的事実も織り込むことで何とかまとめることが出来ました。

中甚兵衛漫画本と感想文に思う

堺市立野田小学校4年担任 木寺 直子
今年4年生を担当させていただいていますが、他県の出身である私は、恥ずかしながら「中 甚兵衛」という人物の名前すら知りませんでした。どのように学習していこうかと悩んでいる中で、手にさせていただいた「中 甚兵衛物語」という冊子は、漫画ということもあって

大変読みやすく、また絵も大変きれいなので、あっという間に史実が頭に入ってきました。

みんなに反対された時の甚兵衛さんのくやしそうな表情や、願いがかなった時のうれしそうな表情。たくさん思いの中での精査されたセリフの数々など、細かな描写が子どもたちを「中甚兵衛」の世界に引き込んでいってくれました。

大和川の歴史をしっかりと勉強した後に見学に行きましたが、子どもたちは「中甚兵衛」の銅像の前で、郷土の偉人をとても身近に感じ、また誇りに思っていました。これから先も、この学習を忘れることなくしっかり自分のものにしてほしいと思っています。今回このような素晴らしい資料をご提供いただきまして、とても感謝しております。ありがとうございました。

「河内の国今昔フェスタ」司会者所感

フリーアナウンサー 坂巻 玲子
司会を「業・なりわい」とし、数々のイベントに携わってきた私が初めに感じたことは、「怖いもの知らずの素人集団」。それがあれよあれよという間にビッグイベントを成し遂げてしまったのです。

「大阪駅南口ゲート前広場」。河内音頭と太鼓の音に誘われて、通りすがりの人が笑顔で輪のまわりに集まり、ステージには「河内にわか」「河内獅子舞」と、伝統文化が披露され大盛り上がり。その合間には、圧巻の大パネル「江戸時代の図会で訪ねる河内の今昔物語」の説明をスタッフが熱意を込めて説明し、真剣に聞き入る姿が印象的でした。「見せ方、観せかた」に今後の工夫が望まれますが

中甚兵衛物語感想文に投稿して 野田小学校 四年 柳田 大貴

僕は歴史が大好きですが、「中 甚兵衛」さんのことは知りませんでした。この学習をきっかけに、郷土の発展に尽くした人物を知ることができて、とてもうれしいです。また、最優秀賞をもらえてうれしかったです。ありがとうございました。



最優秀感想文

甚兵衛のこどものころからの夢をかなえるのに一生をかけていたところがすごかった。とくに、反対が続いた中でも甚兵衛の必死な思いに村人たちが気づき、ついに夢をかなえたことがとてもすごいと感じました。

ぼくが、すごいと思ったのはほかに「きすけ」が川にのまれ悲しい思いを胸に、ほかの人たちの命をすくおうとしたところが、みりょくてきでした。

また、命をかけて、村人のために江戸まで行ったことが自分の夢をはたすためであり村人を洪水から守るすごい人だと思いました。

そして、地図を見て形がかわりすぎていて目をうたがうほどすごかったです。たくさんの方の力を使ったということが最初の地図に表われていました。

もっとすごいと思ったのは、土砂はどのようにしているかを知っていて土砂をとりのぞいても、またたまると思未来の人たちの分まで考えてくれていたのがうれしかったです。

今、洪水にならないのは昔の人の力と中甚兵衛の男気だと知れた本でした。

でも、悲しかったのは「付けかえ」とともにいくつかの命が失われたことでした。でも甚兵衛はその失われた命をむだにせずに最後成功したのがよるこびでいっぱいでした。

その後お坊さんになったのは、なぜかは分からなかったけど新しくできた畑や田を見るとすごく気持ちが良かったです。

一番良いと思ったのは、たった少しの田がしずんだだけで「まだ安心できない。」と感じもっと安全にしようとしていたのがすごかったです。

まずは大成功でしょう。

集客12,000名。

続いて地元東大阪の大学で開催された「河内の国 地域資源と観光を考えるフォーラム」では、各界の教授より講演がおこなわれ、座学、知識としての「新しい河内の再発見」を得、私自身、イベント参加により充実した時間をすごさせていただき感謝しています。ご発展を強く望みます。

「がんばれ！河内の国！」「がんばれ！みなさん！！」

総括と展望

河内の国文化遺産総合活用実行委員会・普及啓発部会 扇谷昭

文化庁の平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業「河内の国今昔フェスタ」の総括と展望を以下に述べる。

第1部「歴史・文化と見本市in大阪駅」は、大阪で最も人の集まる場所を会場に選んだことで、大阪内外から多くの入場者を得ることができ、河内の物産、伝統芸能、更には歴史・文化を広く宣伝できた。

第2部の河内の国フォーラム「地域資源と観光を考える」は、二つの基調講演とパネルディスカッション「高野街道って、なんだろう？」によって、専門家の皆様から河内地域を全国、世界に発信する多くのヒ

ントやキーワードをいただいた。

我々が当初の開催目的とした河内地域の文化遺産についての情報発信、更にはその普及・啓発という観点からは、一定の成果を上げることができたのではないかと。

そして、河内地域を構成するすべての自治体の協力によって全市町村を網羅する観光パンフレット「ロマンあふれる河内へようこそ！」を作成・頒布したこと、河内平野の歴史と各地域の文化を織り込んだ「河内街道音頭」を制作・発表したこと、大和川付け替えに尽力した中甚兵衛の生家・川中家秘蔵の古地図・江戸期の名所図会を大型パネルにして掲示したこと、更には漫画本「中甚兵衛物語」の読書感想文コンクールの審査・表彰を行ったこと、これらの取り組みによって、河内の歴史や文化、自然、物産等を多くの人により身近に感じていただけたものと思う。

今回の事業の成果を踏まえ、地道な聞き取り調査等によって河内地域の隠れた文化や歴史もしっかりと掘り起こし、すべての世代に向けた継続的な情報発信が必要である。

京都、高野という二つの世界遺産をつなぐわが故郷、河内が担ってきた歴史的役割、交通の要衝であり、歴史・文化の宝庫であることを、広く世界に発信することができれば、これほど嬉しいことはない。

河内の国今昔フェスタ会場アンケート分析結果

「歴史・文化と見本市in大阪駅」

●回答数:141通

約12,000人超の入場者総数の1%強の方々に聞き取りアンケートを実施した。全体の意見を反映しているとみることが難しいが、大きな傾向を読み取ることはできる。

60代、70代合わせて回答者の過半数を占め、男女はほぼ拮抗。4分の3強は大阪からの来場者で、兵庫県が2番目。興味を引いた企画としては、河内街道音頭がトップを占め、郷土芸能のにわか、講念仏踊りと続く。良かったとの感想が圧倒的だが、良かったと感じたからアンケートに答えてくれた側面もあるのではないかと。イベントの開催を知った動機のトップは、圧倒的に通りがかりで、さすが大阪駅の集客力と言えるし、半面、大阪駅で開いた意図が当たったともいえる。

自由記載欄には、様々な示唆を戴く回答があった。

イベントに興味をひかれた動機としては、「太鼓の音に誘われて。」「大阪に住んでいても知らないことが多いことに気付かされた。」「河内の地をうまくうたった詩に感服した。」「獅子舞、念仏踊りを見たことがなかったので、どんどん音に引き込まれた。」「と、いろいろな出し物に興味を持っていただいたことがうかがわれる。

回答者の河内のイメージは、「元気なイメージ」「泥臭い人情味がある」「踊りが盛ん」「口が悪い」「にぎやかで楽しい」「武士の地域」「歴史の宝庫」「気さくな感じがする」「歴史のまち」「元気、河内音頭」などと、総じて元気なまち、歴史のまちのイメージが強いようである。

河内地域の活性化に向けては、「地域の優れた文化や技術を広く広めてほしい」「市町村の連携が大切」「河内のPRが足りない」「このようなイベントを知る機会があれば、もっと参加する」等の意見があり、広告・宣伝の方法に多様な手法を取り入れ、工夫が必要と言えるのではないかと。今一つは、若い人からの回答が少ないことが如実に示しているように、歴史・文化・伝統等の次世代への継承が、今後の重要なキーワードとなるのではないかと。



河内の国フォーラム「地域資源と観光を考える」

●回答数:98通

400人強の参加者に対し98通の回答ということで、約25%の回収率と言える。

通りがかりの人の参加はほとんどなかった。その意味で、60代以上の高齢者、しかも女性の参加が大半を占めたことが分かり、今後、若い世代への呼びかけが重要課題であることを、このアンケート結果は示しているのではないかと。

また、地元、東大阪での開催ということからか、ほぼ全員が大阪府内からの参加であった。おおむね好評の評価をいただいたが、主催者や出演団体、講師等の関係者が多かったと考えると、割り引いて判断する必要がある。

自由記載欄にも、多くのご回答をいただいた。

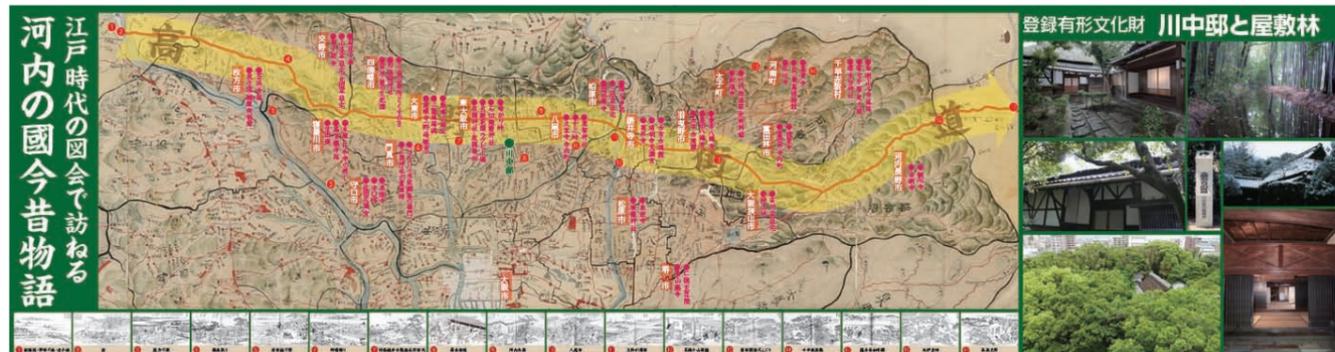
印象に残ったパネリストの項では、「今回のフォーラム、非常にうれしく胸が熱くなりました」「河内の歴史がよく分かった」「高野街道を観光に生かす難しさを実感した」等があった。

河内のイメージでは、「河内木綿」「楠木正成に象徴される忠誠のイメージ」「歴史的に価値のある史跡・風土・地場産業」「太古から開発されたところ」「まだまだ自然が残っていて住みやすいところ」「テンポがよいし、しゃべり好き、世話好き、すみやすい」「まじめで勤勉な人間性。そして緑豊富」「古い街並み」等があった。

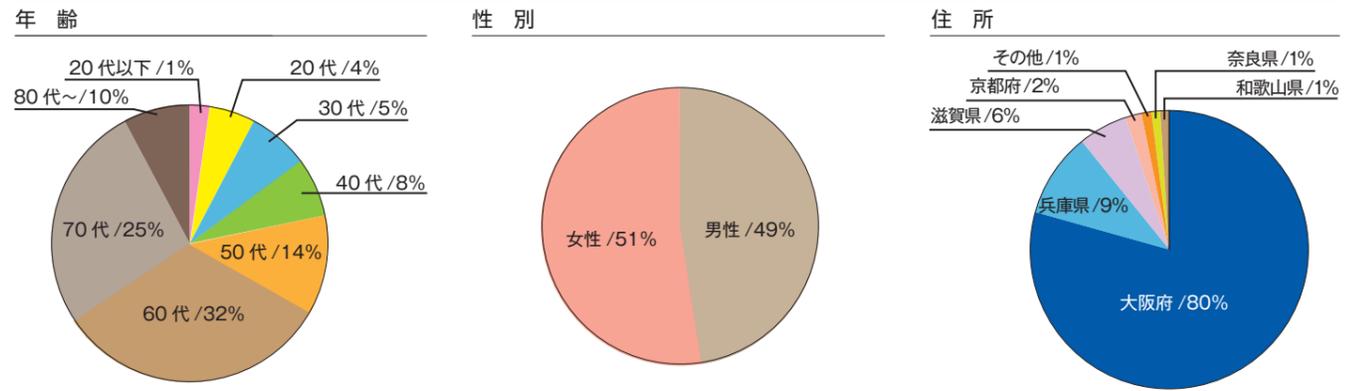
活性化への提言では、「文化施設の集中化」「河内の歴史や人情をよりPRする企画」「若者が発信できるような催しの開催」「食文化(例えば、レンコン)の伝承と河内音頭の発信」「南北に走るモノレールを作る」「匠の力を全国、世界に発信する」「一般の方も参加できる町工場見学ツアーの開催」等、示唆に富む提言があった。



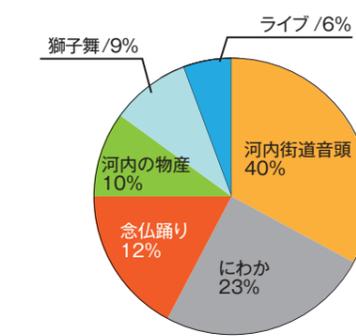
懇親会



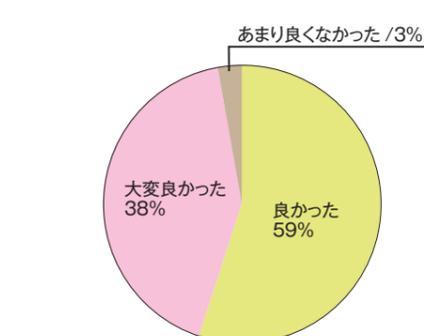
「河内の国今昔フェスタ in 大阪駅」聞き取りアンケート



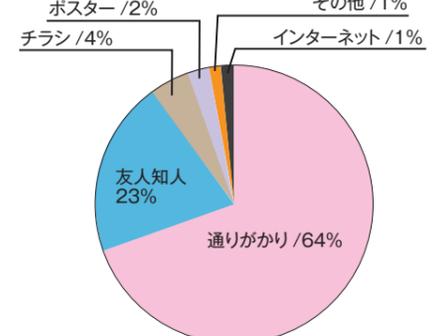
興味を引かれた催し



催しの評価



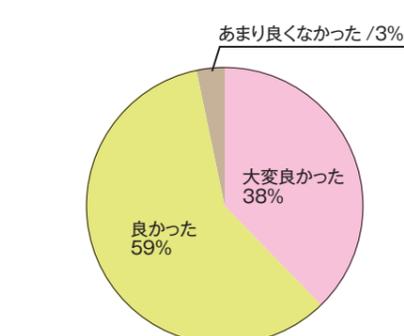
催しは how で知ったか



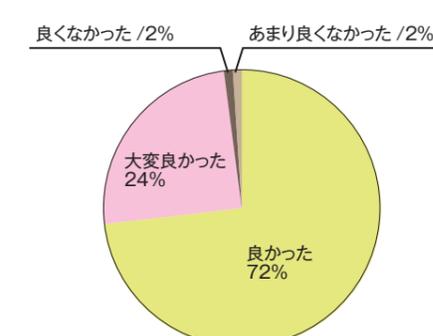
「河内の国フォーラム」アンケート



感想文コンクール



パネルディスカッション



催しは how で知ったか

